

第36回(令和4年)地域医療現地研究会

日本一の米どころ、酒どころ

新潟で語り合おう

わが街の地域包括医療・ケア

～白鳥の飛来する地で実践する地域医療

愛着ある地域医療を見つめて～

会期

令和4年

5月13日(金)

・14日(土)

会場

朱鷺メッセ

新潟コンベンションセンター

研究施設

あがの市民病院

あがの市民病院 介護医療院

阿賀野市 水原保健センター

阿賀野市

あがの市民病院は、新潟県阿賀野市にあり、県庁所在地の新潟市から、東に約20kmのところにあります。当市の人口は約4.1万人、高齢化率約33.7%、高齢者単身世帯・高齢者世帯が全体の世帯数の約23%で増加しています。

新潟県は、医師不足県で、厚生労働省の示した「医師偏在指標」は、47位でした。新潟県には20の市がありますが、当市の医師数は、20市中19位です。人口10万あたりの医師数が約87人(全国平均は約259人)で、相当の医師不足の市です。

阿賀野市には、2つの病院がありますが、1つは脳神経の専門病院であり、総合病院は当院しかありません。

主催：公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会・公益社団法人国民健康保険中央会
新潟県国民健康保険診療施設協議会・新潟県国民健康保険団体連合会

阿賀野市にある瓢湖は、白鳥飛来地として有名ですが、この地で、わが街の愛着ある「地域包括医療・ケア」をともに語り合いましょう！



あがの市民病院 (地域包括医療・ケアを展開する病院)



介護医療院



あがの市民病院は、昭和29年に水原町国保直営病院として発足し、平成27年に新病院の「あがの市民病院」として開院しました。16の診療科があり、総病床数196床、一般急性期病床92床、地域包括ケア病床104床で、介護医療院54床を病院内に併設しています。すなわち、急性期から、回復期、慢性期まで幅広く対応するケアミックス型病院です。

病院には、糖尿病・生活習慣病・予防治療センター、消化器病センター、骨関節疾患センター、地域医療・連携センターの4つのセンターを有し、かつ、透析、呼吸器診療にも力を入れています。糖尿病・生活習慣病・予防治療センター、消化器病センター、骨関節疾患センターでは、常勤医とともに、地元新潟大学からの非常勤医師と協力して、市民における生活習慣病、消化器病、骨関節疾患の発症・進行に関する実態と要因を明らかにし、市民の健康寿命を延ばすための施策立案を、科学的かつ効果的に進めるための研究も行っています。

病院では、健康寿命日本一を目指す市と協力して、地域包括医療・ケアを充実させる取り組みとして、「自助」に力を入れています。すなわち、ヘルスプロモーション活動として、糖尿病教室、地域講演会・出前健康講座、中学校での「たばこの害」・「こわ〜い薬物依存」の講演、地域医療フォーラムや病院祭での講演、新潟大学医学部健康講座塾など、様々な健康情報提供の場を作っています。さらに地域活動として、七夕コンサート、クリスマスコンサート、民謡流し参加などを通して、地域の方々との「ふれあい」「交流」を図っています。また、市内介護施設と、「あがの介護・病院連携の会」を設立し、隔月で定期開催しています。この連携の会では、「患者情報連絡票」を作成し、外来受診をよりスムーズにし、顔の見える関係性作りを行っています。

介護医療院は、要介護高齢者（中でも、重篤な身体疾患を有する者や身体合併症を有する認知症高齢者）が日常生活上の医療処置を受けながらの長期療養する、生活する施設としての役割があります。看取りやターミナルケアにも対応します。

当院は、予防医療から急性期・回復期・在宅医療を含めた慢性期、介護分野までの包括的医療を提供する地域の中心的病院として、また住民に信頼され愛される病院であり続けたいと願い、職員一同ワンチームで活動しています。

阿賀野市「水原保健センター」



水原保健センターは、「健康寿命日本一」「子育て環境日本一」をめざす阿賀野市の保健活動の拠点として市役所の隣に位置し、健康相談や健康教育、各種健康診査などの保健サービスを提供しています。2階には健康講演会や音楽発表会が開催できる「研修室（180人収容）」があります。

